

「ＪＲ徳山駅への新幹線のぞみ号停車本数の増便を求める」要望決議

今年３月１８日から、ダイヤ改正に伴い、ＪＲ徳山駅に停車する新幹線のぞみ号の本数が従前の１５本から９本に減便されることとなった。山口県は、複数の中小都市が特性を活かしたまちづくりを推進している分散型の県域構造であり、他県にはない特色がある。

徳山駅に停車する新幹線のぞみ号は東京駅から徳山駅まで、乗換えなしで運行する列車として利便性も高く、九州と結ぶ港に直結する駅としても、ビジネスや観光など、その存在価値は重要である。

ＪＲ徳山駅への新幹線のぞみ号の停車本数の減便は、国際拠点港の徳山下松港を擁する、県内屈指の工業生産額を誇る石油化学コンビナートをはじめとする企業群の産業基盤の動向や、周南経済圏のこれからの活力にも影響を与えるものである。

よって、周南市議会としてＪＲ徳山駅への新幹線のぞみ号の停車本数の増便を強く求める。行政においても周南圏域の自治体、経済界とも一緒になってＪＲ徳山駅への新幹線のぞみ号停車本数の増便に向けた動きを展開するよう強く要望する。

以上、決議する。

令和５年３月１６日

山口県 周南市議会